

# 必ず、何とかなる

東日本大震災が起きた日、テレビで船や車が流されているのを見て、とんでもないことになったと思いました。交流していた宮城県石巻市の小学校が心配でしたが、10日後に先生から



「学校がめちゃくちゃになった」とメールがきました。初めは「絵本なんて役に立たん」と無力感がありました。でも避難所の子どもが本を読めるようになったと聞いてうれしくなった。笑顔とか言葉とか「誰かの

絵本作家 長谷川義史さん(50) ー大阪市



東日本大震災で被災した子どもたちに児童図書を贈る「いっしょだよ」キャンペーンを実施しています。新しい本の購入に充てる寄付金を募っています。被災地の図書館や学校、保育所などに贈ります。

郵便振替による送金をお願いします。本の寄付は受け付けていません。振替口座は毎日新聞大阪社会事業団(00970・9・12891)。通信欄に「子どもの本」、匿名を希望される方は「匿名希望」と明記してください。問い合わせは財団法人大阪国際児童文学館「東日本大震災『いっしょだよ』キャンペーン」事務局(06・6744・0581)へ。

主催 (財)大阪国際児童文学館、大阪府書店商業組合、毎日新聞社、毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団

ために何かしたい」という気持ちが生きる力をくれる。絵本が、その後押しになればうれしく思います。子どもたちには「みんな、えらい。みんな、素晴らしい。必ず何とかなるから、

希望を持って」と言いたい。僕は、みんなが少しでも笑顔になれるような絵本を書きます。【聞き手・反橋希美】長谷川さんから絵本作家が集まるチャリティーイベント「絵本で元気を！」が22日10時、大阪市西区の市立中央図書館(06・6539・3326)で開かれる。